

特別展 内山晋コレクション受贈記念

「歌川広重 江戸のベストアングル」

Special Exhibition Commemorating the Gift of the Uchiyama Susumu Collection

Hiroshige: New Perspectives on Edo Japan

秘蔵のコレクションから、広重の三大風景画シリーズを大公開！

2026年9月29日（火）～12月20日（日） 東京国立博物館 本館A室

江戸時代後期に活躍した歌川広重（1797～1858）は、四季の移ろいを感じさせる風景画や、色鮮やかな花鳥画で一時代を築いた浮世絵師です。とくに代名詞ともいえる風景画では、日本各地を題材に、天候や時刻の変化、そこに生きる人びとの姿を巧みにとらえ、卓越した画面構成力によって風景の魅力を描き出しました。親しみやすくも新鮮味あふれるその作風は、江戸の人びとの心をつかみました。

このたび当館では、^{うちやますむ}内山晋氏（1893～1980）旧蔵の浮世絵1,025点を受贈しました。内山氏は、歌川広重を中心とする質の高い浮世絵コレクションを築き、出版物や展覧会を通してその魅力を広く紹介するなど、浮世絵の研究と普及に大きな足跡を残した人物です。

本展は、この貴重なコレクションの収蔵を記念し、広重の代表作である「^{とうかいどうごじゅうさんづき}東海道五拾三次」（1期）、「^{きそかいどうろくじゅうきゅうづき}木曾海道六拾九次」（2期）、「^{めいしよえどひやっけい}名所江戸百景」（3期）の三大シリーズを中心に、風景画、花鳥画の名作を3期に分けて紹介します。これらシリーズ全点を一度に公開する、国内外でも例を見ない、大変貴重な機会となります。

広重がとらえた「江戸のベストアングル」を、ぜひご堪能ください。



【本展の見どころ】

① 東博初の本格的な広重展

東京国立博物館では初となる本格的な歌川広重展です。
三大シリーズを中心に、広重が切り拓いた風景表現の魅力に迫ります。

② 三大シリーズがみられるのは今だけ、ここだけ、あなただけ！

「東海道五拾三次」(1期)、「木曾海道六拾九次」(2期)、「名所江戸百景」(3期)を3期にわたって全点公開。広重作品の世界を大きなスケールで味わえる、またとない機会です。

③ 200年前の江戸を体感、実感、没入感

保存状態の良い内山晋コレクションの浮世絵を通して、みずみずしい江戸の風景がよみがえります。

★会場内には、超高精細映像のコーナーも設置！

広重作品の色彩の美しさを、大型モニターで体感していただけます。



東海道の難所、箱根越えの
険しさを迫力豊かに描く

とうかいどうごじゅうさんつぎのうち はこね すすいず
東海道五拾三次之内 箱根 湖水図

歌川広重筆

江戸時代・天保4～6年(1833～35)頃

横大判錦絵 【展示：1期】

【開催概要】

- 会 期 2026年9月29日(火)～12月20日(日)
本展は、以下のスケジュールで展示作品がすべて入れ替わります。
▶1期：9月29日(火)～10月25日(日)
▶2期：10月27日(火)～11月23日(月・祝)
▶3期：11月25日(水)～12月20日(日)
- 開館時間 午前9時30分～午後5時
※毎週金曜・土曜日、10月11日(日)、11月1日(日)、2日(月)、22日(日)は午後8時まで開館。入館は閉館の30分前まで
- 休 館 日 月曜日(ただし10月12日、11月2日、23日は開館)、10月13日(火)、11月24日(火)、12月15日(火)
- 会 場 東京国立博物館 本館A室
- 主 催 東京国立博物館
- 特別協力 NHK
- 公式ウェブページ <https://www.tnm.jp/>
- お問い合わせ 050-5541-8600(ハローダイヤル)

※展示作品、会期、展示期間、開館時間、休館日等については、今後諸事情により変更する場合があります。

【観覧料(税込)】

[前売] ▶一般1,300円 ▶お得な3枚セット券3,600円

[当日] ▶一般1,500円 ▶大学生500円(キャンパスメンバーズ学生は無料)

※大学生観覧料は当日券のみの販売となります。

※前売一般券は6月30日(火)から9月28日(月)までの間、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ、閉館の30分前まで)、オンラインチケット(アソビュー!)にて販売します。

※前売3枚セット券は6月30日(火)から9月28日(月)まで販売。詳細は今後、公式ウェブページ等でお知らせします。

※高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方、障害者とその介護者1名は無料。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)、障害者手帳等をご提示ください。

※東京国立博物館キャンパスメンバーズ会員の学生は無料。正門チケット売場(窓口)にて、キャンパスメンバーズ会員の学生であることを申し出、学生証をご提示ください。

※会期中に限り、本展の使用済みチケットのご提示で本展の観覧料が100円割引となります(1回限り、他の割引との併用不可)。ただし、本割引の適用は当日一般観覧料に限り、大学生観覧料は割引の対象外です。

※本展観覧料で、本展ご観覧の当日に限り東博コレクション展もご覧いただけます。

1期「東海道五拾三次」と江戸名所

9月29日（火）～10月25日（日）

江戸・日本橋から京へ向かう旅の情景を描いた「東海道五拾三次」(保永堂版)は、^{ほうえいどう}広重の名を一躍高めた出世作です。広重が生涯にわたって取り組んだ江戸名所の数々とあわせて紹介します。



旅の始まりを告げる、早朝の日本橋

東海道五拾三次之内 ^{にほんばし} 日本橋 ^{あさのけい} 朝之景

歌川広重筆

江戸時代・天保4～6年（1833～35）頃

横大判錦絵 【展示：1期】

激しい夕立のなか、すれ違う旅人たちの一瞬のドラマ

東海道五拾三次之内 ^{しょうの} 庄野 ^{はくう} 白雨

歌川広重筆

江戸時代・天保4～6年（1833～35）頃

横大判錦絵 【展示：1期】



納涼客でにぎわう夏の隅田川

東都名所 ^{りょうごくゆう} 両国夕すゞみ

歌川広重筆

江戸時代・弘化4～嘉永3年（1847～50）

大判錦絵3枚続 【展示：1期】

2期「木曾海道六拾九次」と諸国名所・花鳥画

10月27日（火）～11月23日（月・祝）

「木曾海道六拾九次」は、広重と溪斎英泉（1791～1848）が合作で手掛けた70枚揃のシリーズです。起伏に富む木曾街道の風景を、旅人や土地の人びとの姿とともに、表情豊かに描き出しました。諸国名所、花鳥画の代表作と合わせてお楽しみいただきます。

たそがれ時の微妙な光の移ろいをとらえる

木曾海道六拾九次之内 洗馬

歌川広重筆

江戸時代・天保7～8年（1836～37）頃

横大判錦絵 【展示：2期】



馬の脚も埋もれるほどの深雪

木曾海道六拾九次之内 大井

歌川広重筆

江戸時代・天保7～8年（1836～37）頃

横大判錦絵 【展示：2期】

切手でも親しまれた、花鳥画の代表作

月に雁

歌川広重筆

江戸時代・天保3～6年（1832～35）頃

中短冊判錦絵 【展示：2期】



3期「名所江戸百景」の世界

11月25日（水）～12月20日（日）

晩年の代表作「名所江戸百景」は、広重が生まれ育った江戸の名所を、独自の視点で縦横に描き尽くしたシリーズです。その斬新な画面は人気を集め、百景にとどまらず120点が刊行されました（目録1点、二代広重作1点を含む）。本展では、シリーズ全点を一堂に公開します。



車輪越しに江戸湾を望む、
広重ならではのアングル

めいしよえ どひやつけい たかなわ
名所江戸百景 高輪うしまち

歌川広重筆

江戸時代・安政4年（1857）4月

大判錦絵 【展示：3期】



川と橋を斜めにとらえ、夕立の緊迫感を
描き出す

めいしよえ どひやつけい おお はしあたけの ゆうだち

歌川広重筆

江戸時代・安政4年（1857）9月

大判錦絵 【展示：3期】



ゴッホも模写したことで知られる、

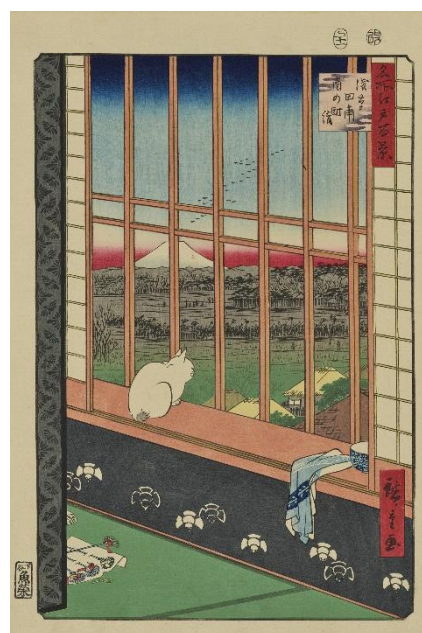
大胆な構図

めいしよえ どひやつけい かめいどうめやしき
名所江戸百景 亀戸梅屋舗

歌川広重筆

江戸時代・安政4年（1857）11月

大判錦絵 【展示：3期】



猫の視線の先に広がる、江戸の風景

めいしよえ どひやつけい あさくまだんぼとり まちもうで
名所江戸百景 浅草田雨酉の町詣

歌川広重筆

江戸時代・安政4年（1857）11月

大判錦絵 【展示：3期】

旧蔵者・内山晋氏について

旧蔵者の内山晋氏（1893～1980）は、静岡県生まれ。商事会社を営むかたわら、歌川広重を中心とした浮世絵コレクションを築いた蒐集家です。幼い頃から浮世絵を好み、学生時代に故郷の江尻清水湊を描いた広重作品を手にしたことがコレクション形成の第一歩となりました。本格的な蒐集は、ボストン美術館や大英博物館へ訪れた際、浮世絵の展示を目の当たりにしたことを契機に始まったといいます。美人画や役者絵よりも名所絵を好み、なかでも静寂で抒情的な広重の作品に惹かれ、蒐集しました。

内山氏は、自らのコレクションを『白潮山荘浮世絵鑑賞』（私家版、1958年）にまとめたほか、『日本版画美術全集』（講談社、1960～62年）や『浮世絵大系』（集英社、1973～76年）などで紹介し、数々の展覧会にも出品しました。日本浮世絵協会（現在の国際浮世絵学会）設立に携わり、協会内に内山晋米寿記念浮世絵奨励賞を設立するなど、浮世絵研究の発展にも大きく貢献しました。



黒と白のグラデーションで描いた、雄大な雪山

きそじのさんぜん
木曾路之山川

歌川広重筆 江戸時代・安政4年(1857)

大判錦絵3枚続 【展示：2期】

【本件に関するお問合せ】

特別展「歌川広重 江戸のベストアングル」広報事務局（共同PR内） 担当：三井

E-mail: hiroshige.usc-pr@kyodo-pr.co.jp

TEL: 03-6264-2382